

人間環境大学看護学部看護学科教育課程および履修方法に関する規程

(準拠)

第1条 この規程は、人間環境大学学則（以下「学則」という）第28条および29条の規定に基づき看護学部の教育課程および履修方法について定める。

(授業科目)

第2条 授業科目の区分は、次のとおりとする。

- (1) 基礎科目
 - (2) 資格科目（教育職員免許状取得資格に関する科目）
 - (3) 専門基礎科目
 - (4) 専門科目
- 2 授業科目の単位数および配当年次については、別表（教育課程表）に定める。

(卒業要件)

第3条 看護学部を卒業するためには、前条に定める科目群から次に示す必要単位数を含め128単位以上を修得しなければならない。

- (1) 基礎科目 14単位（必修12単位・選択必修2単位）
- (2) 専門基礎科目 30単位（必修30単位）
- (3) 専門科目（臨地実習を除く） 58単位（必修58単位）
- (4) 専門科目（臨地実習） 23単位（必修23単位）
- (5) 任意選択科目 3単位以上

(履修登録の手続)

第4条 学生は履修すべき授業科目について、定められた期間内に履修登録を行わなければならない。

- 2 履修登録は、本学WEBポータルサイトによって行うものとする。
- 3 既に単位を修得した授業科目は、履修登録することができない。
- 4 同一時限に授業が行われる複数の授業科目を重複して登録してはならない。
- 5 授業の形態や教室の設備等により、授業科目の履修者数の制限を設けることがある。
- 6 授業科目の目的や内容により、履修前提条件を設けて履修者を制限することがある。

(履修登録変更)

第5条 履修登録後は、所定の期間に限り、履修登録の変更を認める。それ以外の期間については、特別の理由のない限り、履修登録の変更は認めない。

(履修の中止)

第6条 履修登録後は、必修科目、学部が指定した科目を除き、所定の期間に限り、履修の中止を認める。なお、履修の中止を行った科目は、いかなる理由があっても当該学期中に再度履修登録を行うことはできない。

(履修登録単位数の上限)

第7条 1年間に登録できる単位数の上限は原則として45単位とする。但し、教育職員免許状取得資

格に関する科目は登録できる単位数の上限に含めない。

- 2 所定の単位を極めて優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を引き上げることがある。また、成績が一定の基準に届かない場合は、履修登録単位数の上限を引き下げることがある。その基準については第 14 条による。

(資格コースおよび強化プログラム等)

第 8 条 看護学部には、看護師国家試験受験資格を目的とする看護師基本コース、各強化プログラム(子どもと家族の看護、がん看護、認知症高齢者と家族の看護、地域・在宅療養者と家族の看護)および資格コース(保健師、養護教諭)を設ける。学生は、いずれかの履修コースを選択して単位を修得するものとする。

- 2 各強化プログラムおよび資格コースの履修要件、定員、選抜時期等については別に定める。

(履修科目の失格)

第 9 条 授業科目を履修した者が次の各号に該当するときは、失格として当該授業科目の単位認定は行わない。但し、臨地実習、養護実習等にかかる扱いについては、別に定める。

- (1) 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の 5 分の 1 を超えるとき。
- (2) 正当な理由がなく定期試験を受験しなかったとき。
- (3) レポート等を定められた期限までに提出しなかったとき。
- (4) 定期試験等において不正行為をしたとき、または退場を命じられたとき。

(授業の運営)

第 10 条 看護学部の授業の運営および実施に関する詳細は、別途定める。

(既修得単位の認定)

第 11 条 既修得単位の認定については、別途定める。

(成績評価)

第 12 条 学則第 34 条に定める授業科目の成績評価は、次の評価基準により行う。

評価点等	評語	可否等	評価基準
100～90 点	S	合格	学習目標をほぼ完全に達成している (Excellent)
89～80 点	A		学習目標を相応に達成している (Very Good)
79～70 点	B		学習目標を相応に達成しているが不十分な点がある (Good)
69～60 点	C		学習目標の最低限は満たしている (Pass)
60 点未満	D	不合格	学習目標の最低限を満たしていない (Failure)

- 2 前項に定める成績評価 D (不合格) 以外に、下記のいずれかに該当する場合は不合格とする。

評価点等	評語	可否等	評価基準
試験欠席	E	不合格	試験不受験、課題未提出により成績評価要件を満たしていない (Withdrawal)
欠席過多	F		出席不足等により成績評価要件を満たしていない (Withdrawal)

- 3 学則第 35 条、第 36 条および第 37 条の定めにより認定された単位については下記のとおり表すものとする。

評価点等	評語	可否等	評価基準
認定	N	認定	本学以外で修得したもので本学が単位認定したもの (Credit given under Credit provision)

(成績評価の疑義申出)

第 13 条 前条における成績評価または不合格に対して疑問がある場合は、疑義を申し出ることができる。

- 2 疑義の申出は、定められた期間内に大府キャンパス教務課に行うものとする。

(学修成果の評価)

第 14 条 学修の状況および成果を示す指標として GPA (Grade Point Average) 制度を導入し、第 12 条に規定する授業科目の成績評価に対して、GP (グレードポイント) を与え、これに基づき履修科目の成績の 1 単位当たりの平均値である GPA (グレードポイント・アベレージ) を算出する。

- 2 GP は、次のとおりとする。

評語	GP
S	4.0
A	3.0
B	2.0
C	1.0
D	0
E	0
F	0
N	対象外

- 3 GPA の算出方法は、次のとおりとする。

$$GPA = \frac{\text{(授業科目で得た GP} \times \text{その授業科目の単位数) の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の総和}}$$

- 4 成績証明書には、GPA は明記しない。

- 5 GPA 対象外科目は、次のとおりとする。

- (1) 資格科目
- (2) 単位認定科目
- (3) 定められた期間に履修の中止を行った科目
- (4) その他、卒業要件に算入されない科目

- 6 前年度の GPA が 3.0 以上の場合は、原則として履修登録単位数の上限を 2 単位相当引き上げ、47 単位とする。

- 7 前年度の GPA が 2.0 未満の場合は、原則として履修登録単位数の上限を 2 単位相当引き下げ、43 単位とする。

(試験)

第 15 条 試験に関する詳細は、別途定める。

(追実習)

第 16 条 実習科目における追実習の扱いは、追試験に準じるものとする。

(看護師国家試験受験資格)

第 17 条 卒業の認定を受ける看護学部看護学科の学生が保健師助産師看護師法（昭和 23 年法律第 203 号）第 18 条に基づき、同法施行規則に定める所定の科目を履修し、所定の単位を修得したときには、看護師国家試験受験資格を得ることができる。

(保健師国家試験受験資格)

第 18 条 卒業の認定を受ける看護学部看護学科の学生が保健師助産師看護師法（昭和 23 年法律第 203 号）第 18 条に基づき、同法施行規則に定める所定の科目を履修し、所定の単位を修得したときには、保健師国家試験受験資格を得ることができる。

(養護教諭一種免許状)

第 19 条 卒業の認定を受ける学生が教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）および同法施行規則（昭和 29 年文部省令第 26 号）に定める所定の科目を履修し、所要の単位を修得したときには、養護教諭一種免許状の授与資格を得ることができる。その他、必要な事項は別に定める。

(規程の改廃)

第 20 条 この規程の改廃は、看護学部教授会の議を経て、学長が決定する。

附則 この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附則 この規程（改正）は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附則 この規程（改正）は、平成 28 年 9 月 28 日から施行する。

附則 この規程（改正）は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附則 この規程（改正）は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

別表(教育課程表)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考		
			必修	選択			
基礎科目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール	1	2		科目区分別必要単位数 基礎科目 14単位 必修科目 12単位 選択必修科目 2単位 専門基礎科目 30単位 専門科目(臨地実習を除く) 58単位 専門科目(臨地実習) 23単位 任意選択科目 3単位以上	
		人間環境学	1	2			
		医療キャリアの基礎	1	1			
	コミュニケーションの基礎	英語リスニング	1	2			
		英会話(基礎)	1	2			
		英会話(医療英語)	2		2		
		英語リーディング	2		2		
		Collaborative Online International Learning	3		1		
		中国語	1		2		
		ドイツ語	1		2		
	コンピュータ基礎・情報処理法	1	1				
	人間と生活の理解	日本国憲法	1		2		
		美術に見る自然環境と日本	1		2		
		人間関係論	1		2		
		教育心理学	1		2		
		フィットネススポーツ	1		1		
		体育実技	1		1		
		家族社会学	1		2		
		生命倫理学	1		2		
		社会福祉学	1	2			
		国際文化論	1		1		
		教育社会学	1		2		
		社会保障論	1		2		
		哲学	1		2		
		美術に見る近世日本の人間像	1		2		
		万葉時代の生	1		2		
	経営学	1		2			
	万葉集と恋	1		2			
	資格科目	教職関連科目	教職論	1			2
			教育原理	1			2
			教育方法論	2			2
			教育課程論	2			2
			特別支援教育論	2			2
道徳の理論及び指導法			2		1		
特別活動論(総合的な学習の時間の指導法を含む)			2		2		
生徒指導論			2		2		
特別支援インターン			2		1		
教育相談			3		2		
養護実習Ⅰ			4		1		
養護実習Ⅱ			4		3		
教職実践演習(養護教諭)			4		2		
専門基礎科目	人体の構造と機能	からだの仕組みと生活	1	1			
		看護のための形態機能と疾病	1	4			
		形態機能学	2	2			
		微生物学	1	2			
		生化学	1	2			
	栄養学	2	1				
	疾病の治療と回復促進	病理学	2	1			
		疾病・治療論Ⅰ	2	2			
		疾病・治療論Ⅱ	2	2			
	健康と生活支援	薬理学	2	2			
		統計学	1	2			
		疫学	2	2			
		保健看護情報学	3	1			
		公衆衛生学	1	1			
		保健医療福祉行政論Ⅰ	3	2			
		臨床心理学	2		1		
		カウンセリング	3		2		
	多職種連携と協働	4	1				
人権擁護と成年後見制度	3		1				
心理学	1	2					

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数		備考	
				必修	選択		
専 門 科 目	基礎 看護学	看護学原論	1	2			
		生活援助技術	1	3			
		診療援助技術	2	3			
		看護コミュニケーション論	1	1			
		看護過程	2	1			
		看護倫理	4	1			
		フィジカルアセスメント	2	2			
		地域・在宅看護学概論Ⅰ	1	1			
		地域・在宅看護学概論Ⅱ	2	1			
		地域・在宅看護援助論	2	2			
	地域・ 在宅 看護学	地域・在宅看護演習	3	2			
		地域・在宅療養者と家族の支援演習	2		1		
		地域・在宅療養者と家族の支援実習	2		2		
		小児 看護学	小児看護学概論	2	1		
			小児看護援助論	2	2		
			小児看護演習	3	1		
	こどもと家族の看護援助論		4		1		
	こどもと家族の看護学外演習		4		1		
	こどもと家族の看護演習		4		1		
	母性 看護学	母性看護学概論	2	1			
		母性看護援助論	2	2			
		母性看護演習	3	1			
	成人・ 老年 看護学	成人 看護学	成人看護学概論	2	2		
			成人看護援助論	2	2		
			成人看護演習	3	4		
			がん看護援助論	4		1	
			がん看護学外演習	4		1	
		がん看護演習	4		1		
		老年 看護学	老年看護学概論	2	1		
			老年看護援助論	2	2		
			老年看護演習	3	1		
			認知症高齢者と家族の看護援助論	4		1	
	認知症高齢者と家族の看護学外演習		4		1		
	認知症高齢者と家族の看護演習	4		1			
	広域 看護学	公衆 衛生 看護学	地域看護・公衆衛生看護学概論	2	2		
			公衆衛生看護援助論Ⅰ	2		2	
			公衆衛生看護援助論Ⅱ	3		2	
			個人・家族支援論	4		2	
			公衆衛生看護管理論	4		1	
			健康教育	4		2	
成人保健・産業保健			2		2		
地域診断論			4		2		
保健医療福祉行政論Ⅱ		4		1			
地域 看護学		学校保健	2		2		
		養護概説	3		2		
		健康相談活動論	3		2		
国際 看護学		国際看護学Ⅰ	1	2			
		国際看護学Ⅱ	2		2		
		国際看護学海外研修	2		1		
精神 看護学		精神保健看護学概論	2	1			
		精神看護援助論	2	2			
	精神看護演習	3	1				
統合看護	家族看護論	2	1				
	看護教育論	4		1			
	災害看護学	4	1				
	統合看護	4		1			
	ストレスマネジメント論	4		1			
	研究方法論	3	1				
	看護管理学	4	1				
	ICTと未来の医療	4	1				
	エンドオブライフケア看護学	3	1				
看護研究	4	2					

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		備考
			必修	選択	
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	2	2		
	小児看護学実習	3	2		
	母性看護学実習	3	2		
	急性期看護学実習	3	3		
	慢性期看護学実習	3	3		
	老年看護学実習	3	3		
	精神看護学実習	3	2		
	国際看護学実習	4		1	
	地域・在宅看護学実習	3	3		
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4		4	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4		1	
	統合実習	4	2		